

平成27年4月

平成27年	1月	～	3月期	実 績
平成27年	4月	～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・I とは

D・I とは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

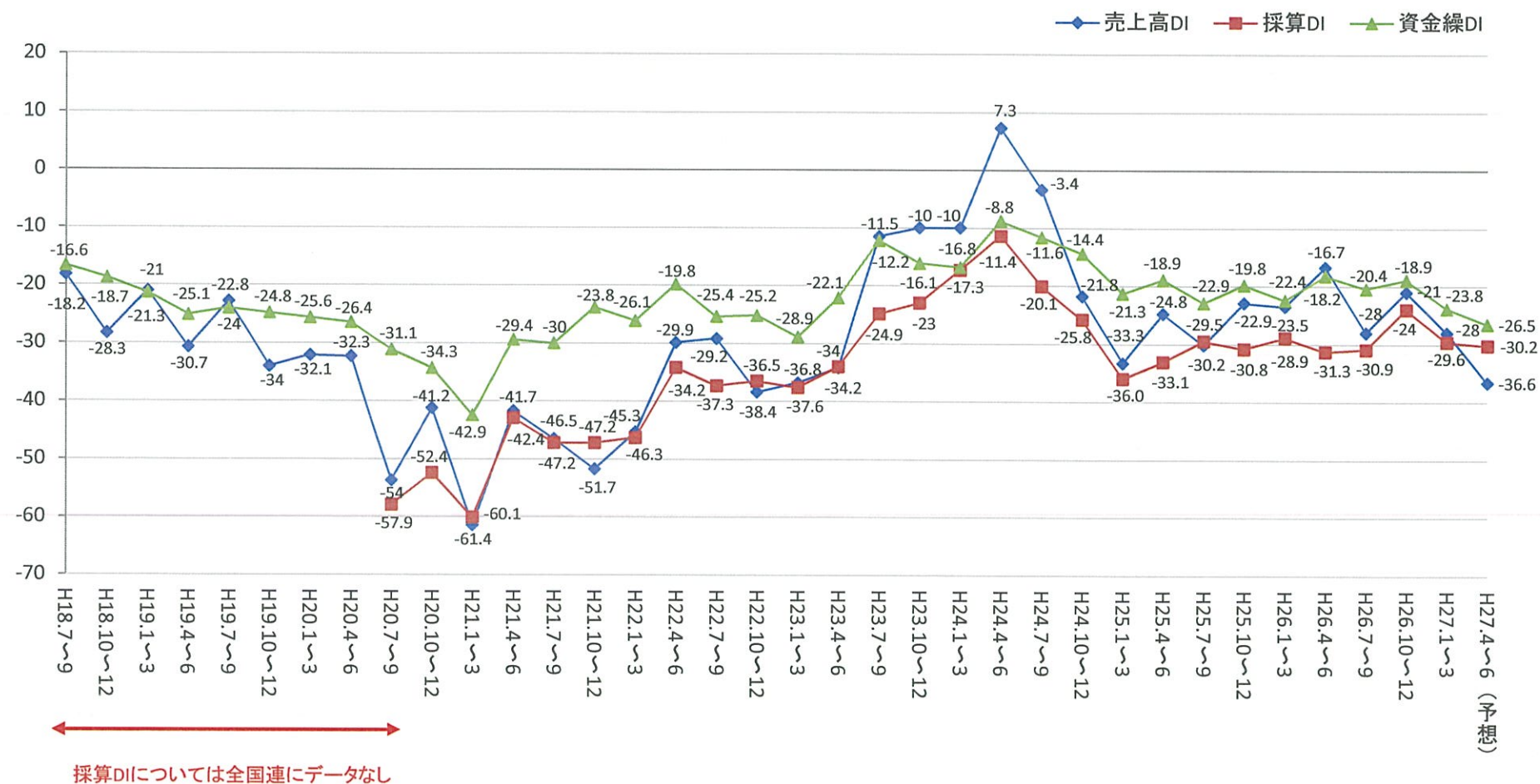
D・I がプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・I はゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・I は $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成25年 4～6月	7～9月	10～12月	平成26年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成27年 1～3月	(見通し) 4～6月
製 造 業	 雨	 曇	 薄 曇	 曇	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 薄 曇	 晴	 晴	 快 晴	 快 晴	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

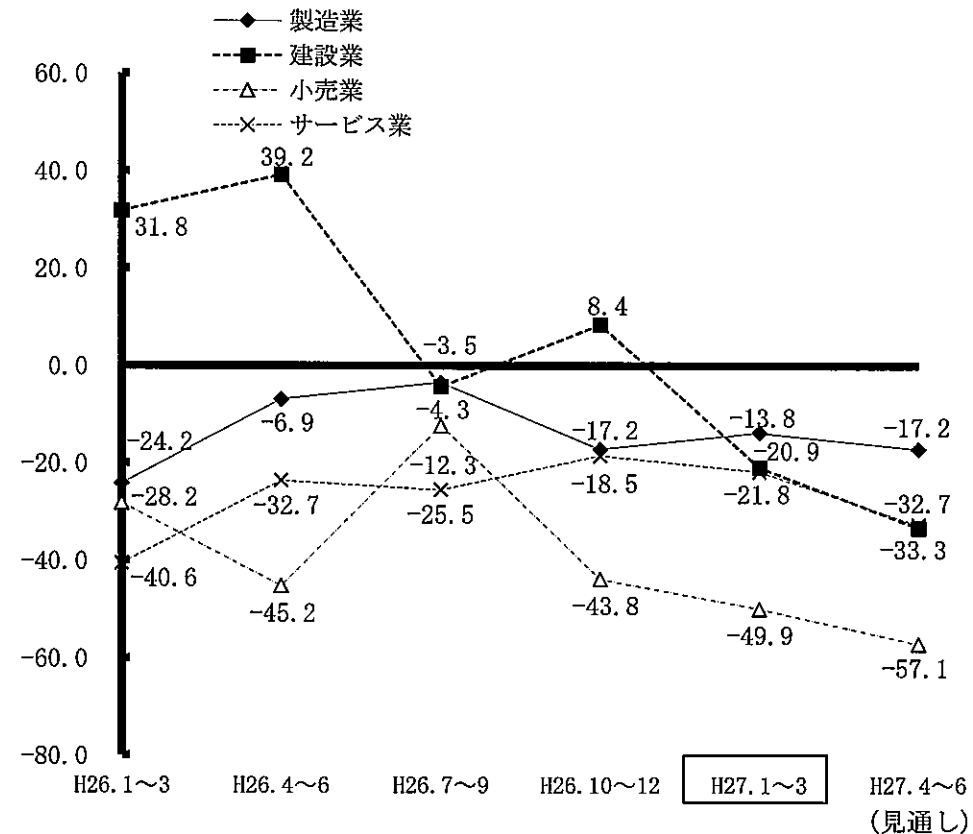
売上高

建設業が急激に悪化

今期は、製造業において、3.4ポイント上昇の△13.8と回復しました。

一方、建設業においては、29.3ポイント減少の△20.9まで急激に悪化し、小売業においては6.1ポイント減少の△49.9に悪化、サービス業においても、3.3ポイント減少の△21.8に悪化しました。

来期は、全ての業種において悪化の見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採 算

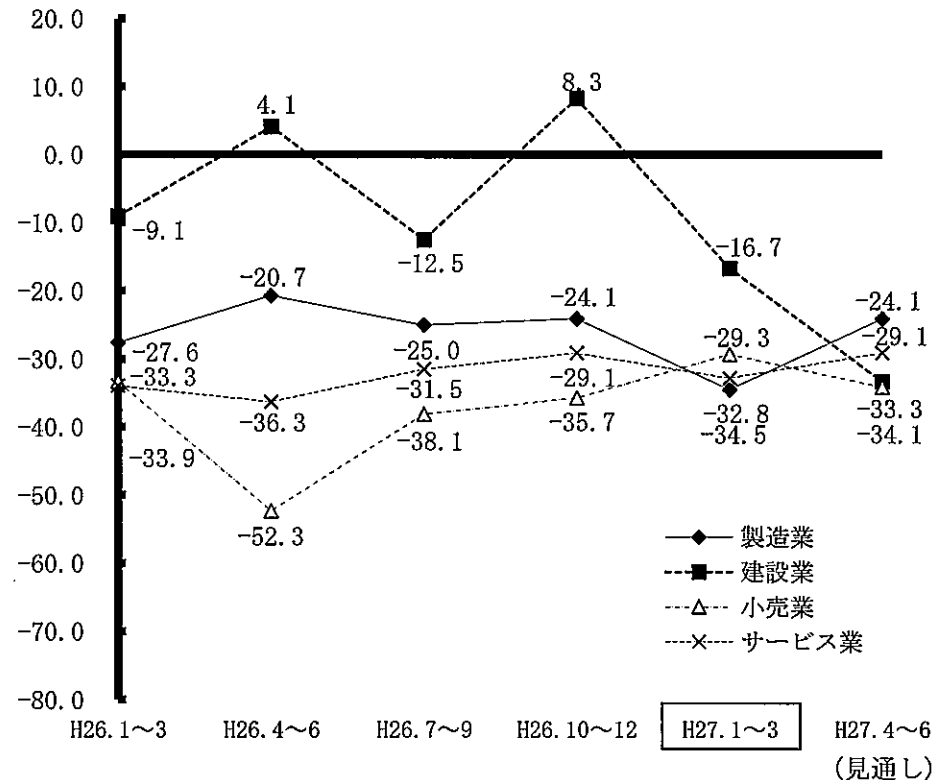
建設業、製造業の利益率が大幅に悪化

今期は、小売業で、6.8ポイント改善しました。

建設業では25.0ポイントと大幅に悪化し△16.7、製造業では10.4ポイント減少の△34.5となりました。

来期は、建設業において、大幅な悪化を見込んでおり、製造業でやや改善が見られるもののほぼ横ばいとなる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



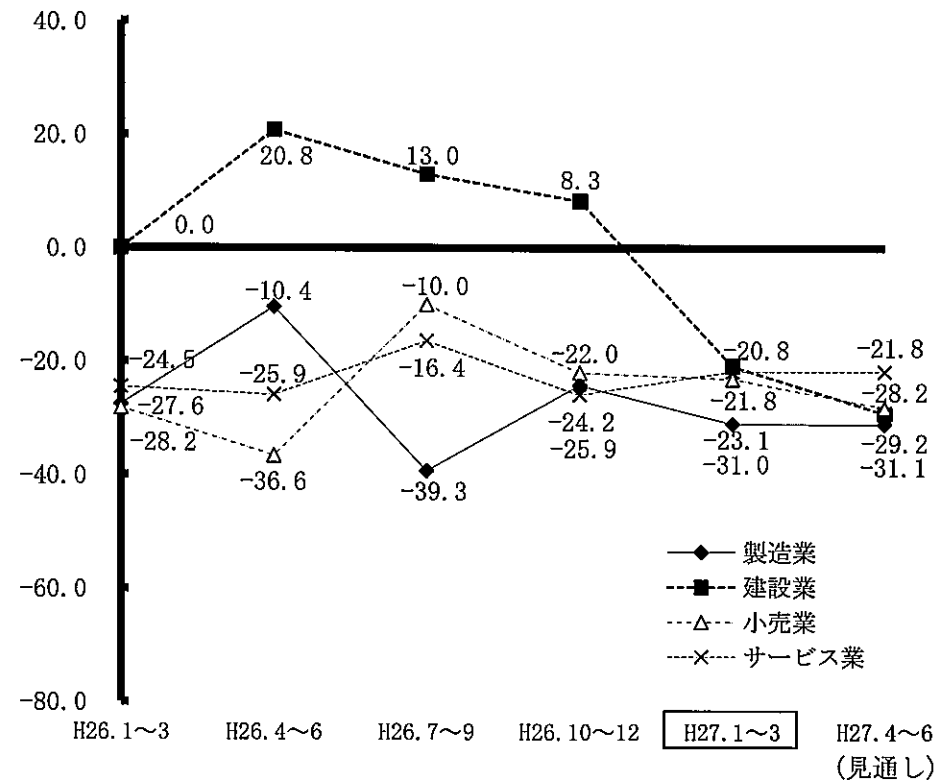
全産業の推移

資金繰り

**建設業、製造業の資金繰りは悪化、
小売業、サービス業は横ばい**

今期は、建設業において、29.1ポイントと大幅に減少し△20.8、製造業においても5.1ポイント減少し、△31.0と大幅に悪化しました。

来期は、建設業と小売業でやや悪化し、製造業、サービス業ではほぼ横ばいの見通しです。



製造業の推移

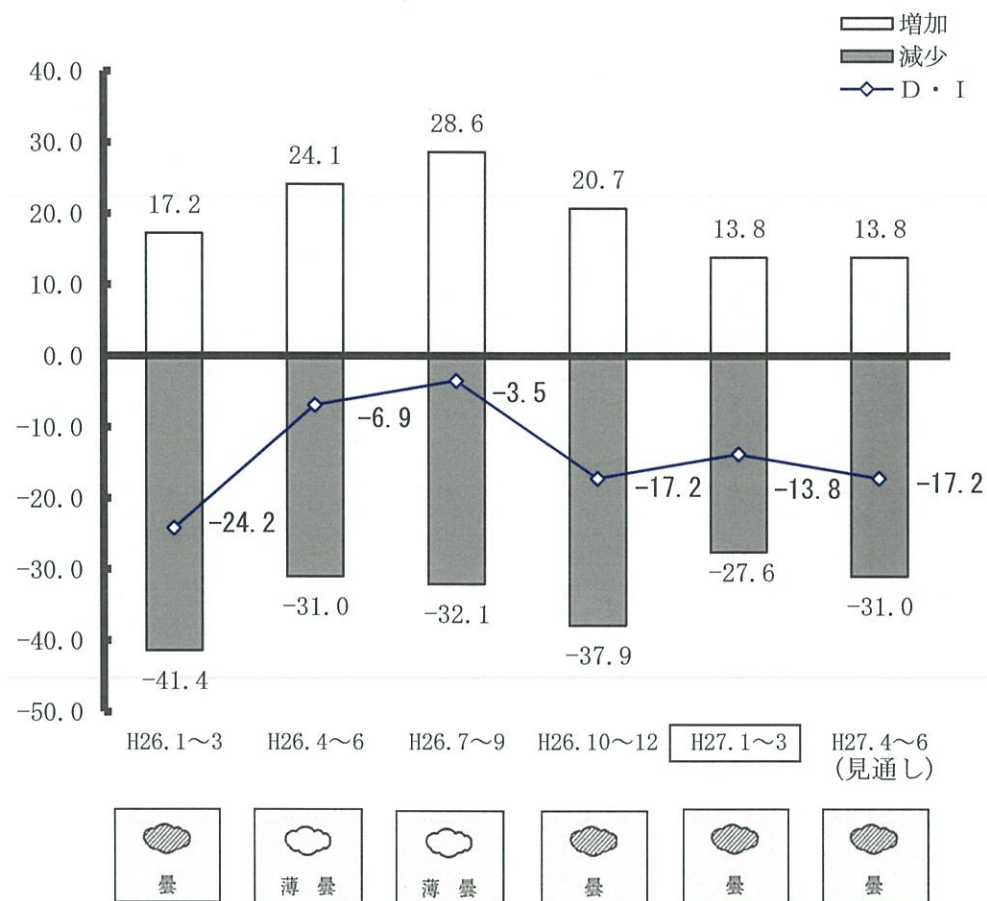
売上高

<今 期> <来期見通し>



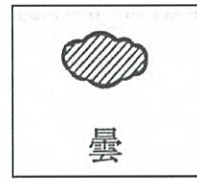
今期は、売上増加企業が減少し、売上減少企業も減少しました。売上高D・Iは3.4ポイント増加の△13.8と小幅に改善しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業は横ばいながら、売上の減少を予想する企業が増加するため、売上高D・Iは△17.2と小幅に悪化する見通しです。



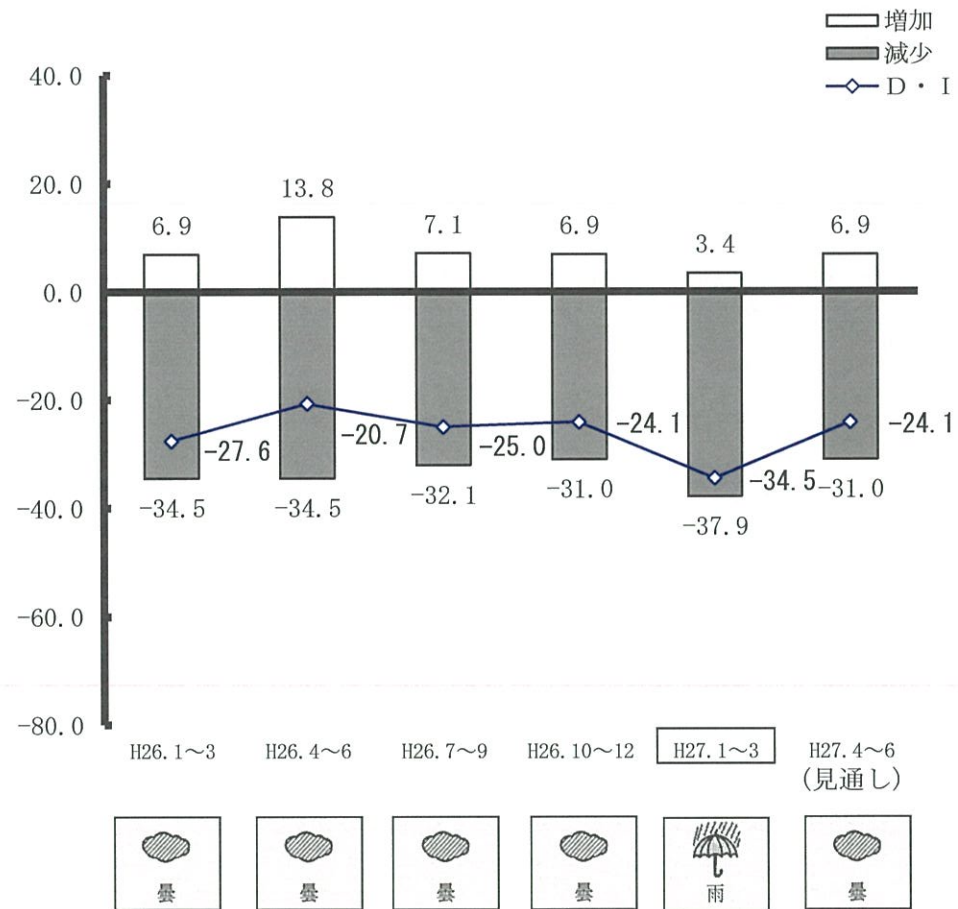
採算

<今 期> <来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が減少し、採算が悪化した企業は増加したことから、採算D・Iは10.4ポイント悪化し△34.5と悪化しました。

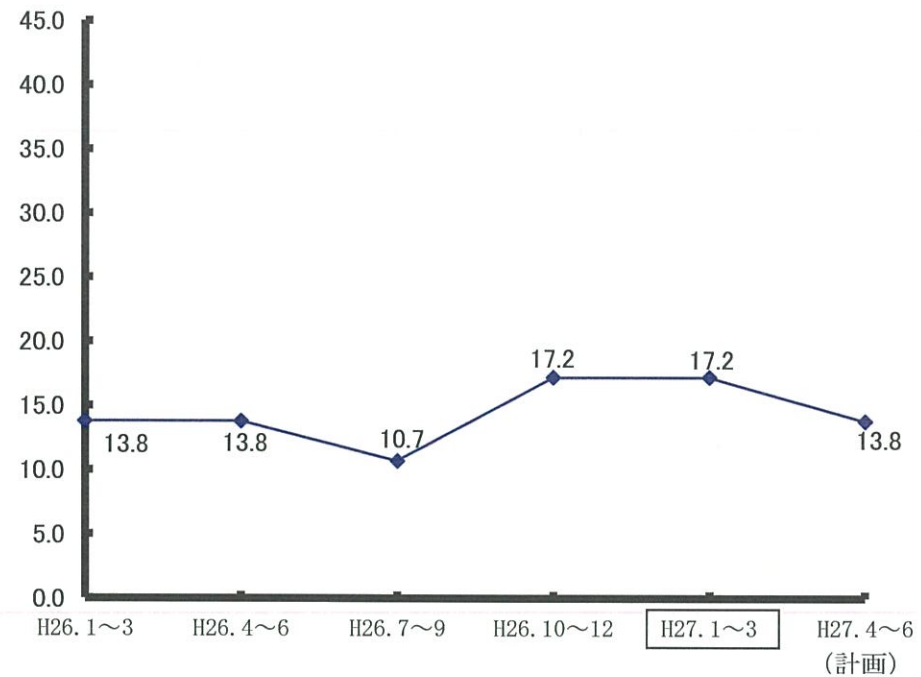
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業がやや増加し、採算が悪化すると挙げた企業が減少することから、小幅ですが採算が改善する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は横ばいとなり前期と変わらず17.2でした。

来期は、売上の悪化予想から設備投資がやや減少すると見込んでいます。



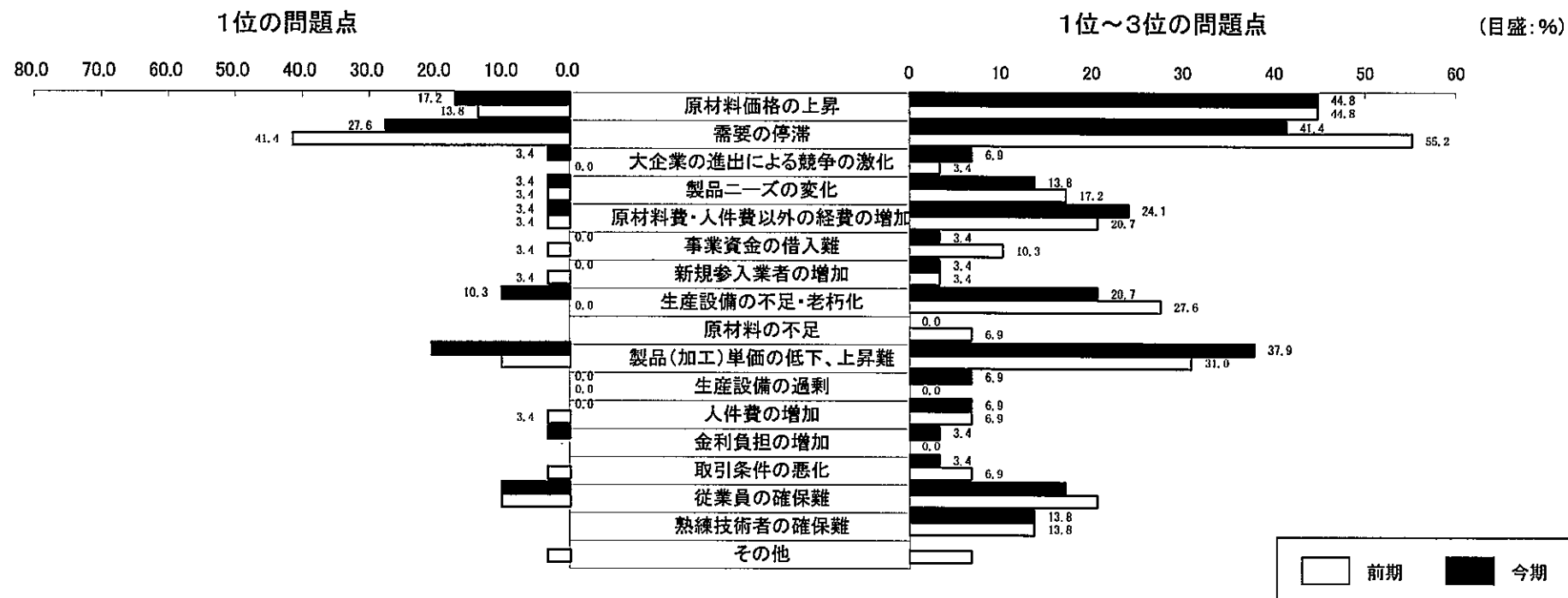
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

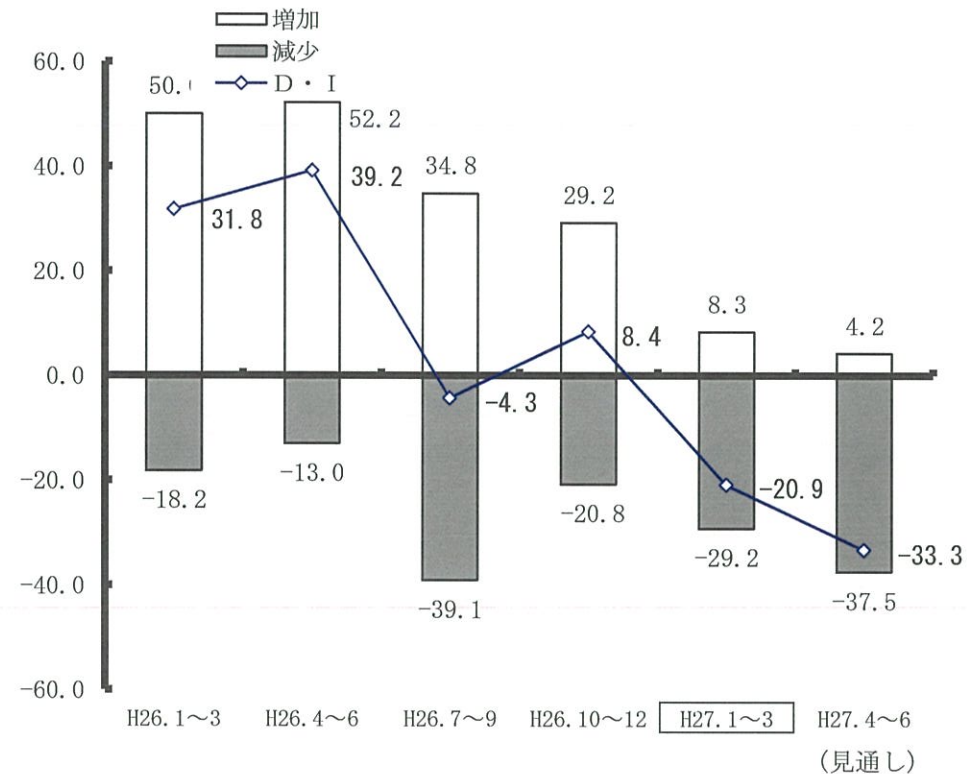


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が大幅に減少したことから、売上高D・Iは29.3ポイント減少の△20.9まで減少し、天気図は薄曇から曇となりました。

来期は、売上高の減少を挙げた企業の割合が増えると予想され、△37.5まで悪化し、予想天気図は雨となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

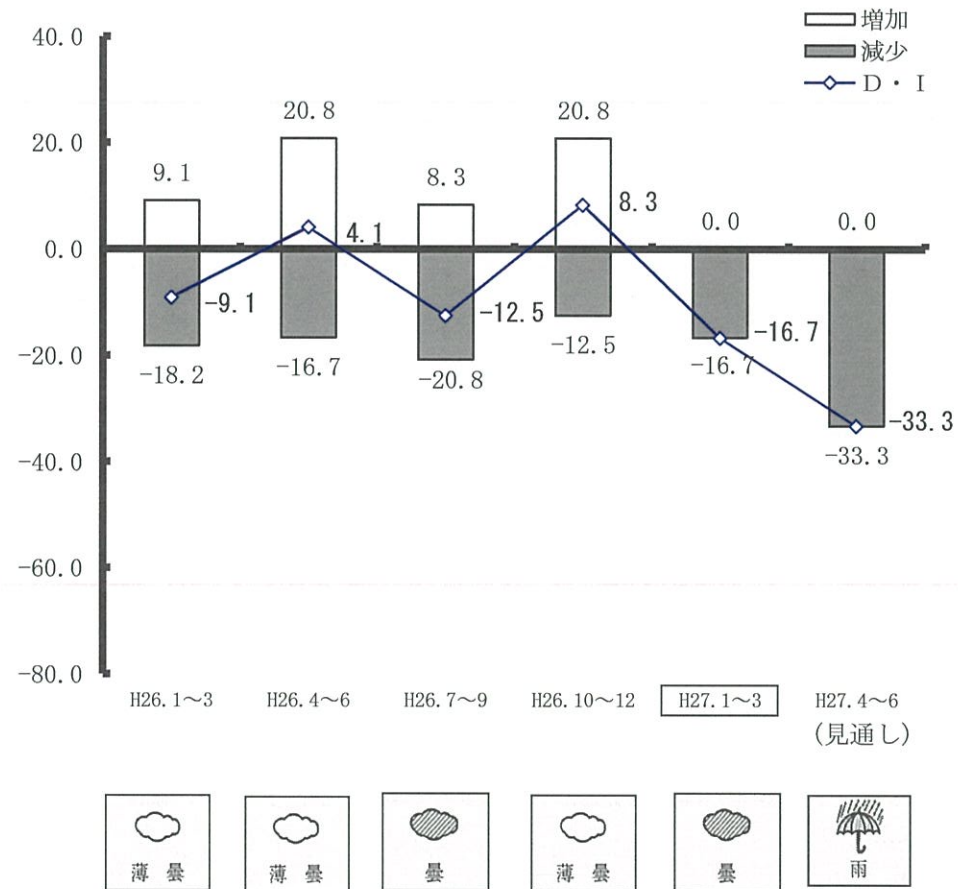


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業がゼロで、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは25.0ポイント減少の△16.7と悪化し、天気図は薄曇から曇に変わりました。

来期は、さらに採算の悪化を予想する企業が大幅に増加することから、採算D・Iは、△33.3まで悪化する見通しです。



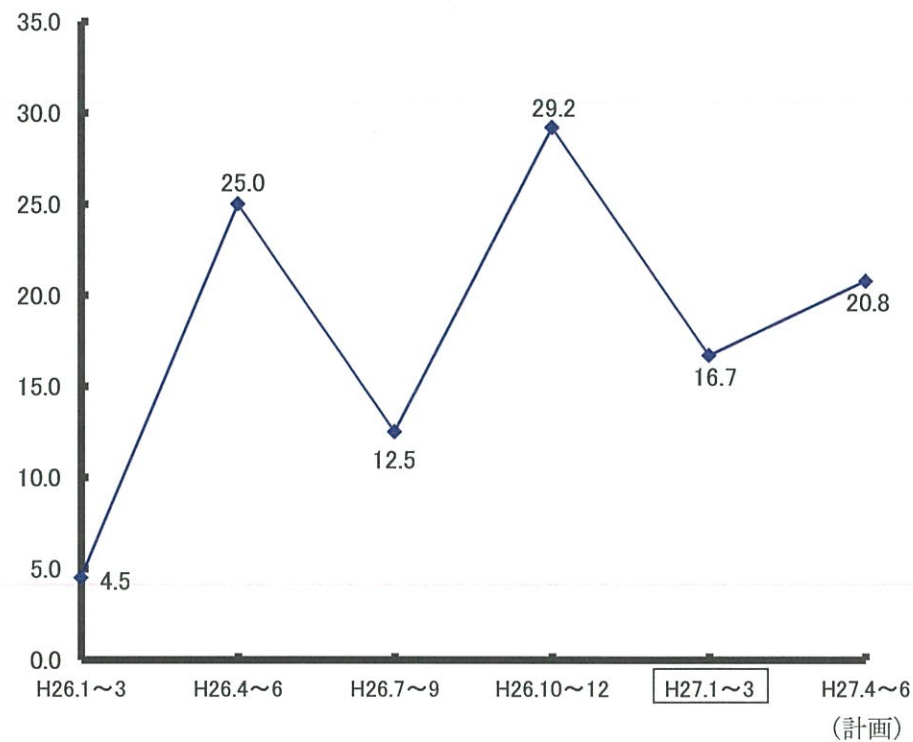
建設業の推移

設備投資

前期見通しのとおり、設備投資を実施する企業は一転して16.7まで減少しました。

来期は、設備投資を予定する企業が20.8まで回復し、小幅に増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

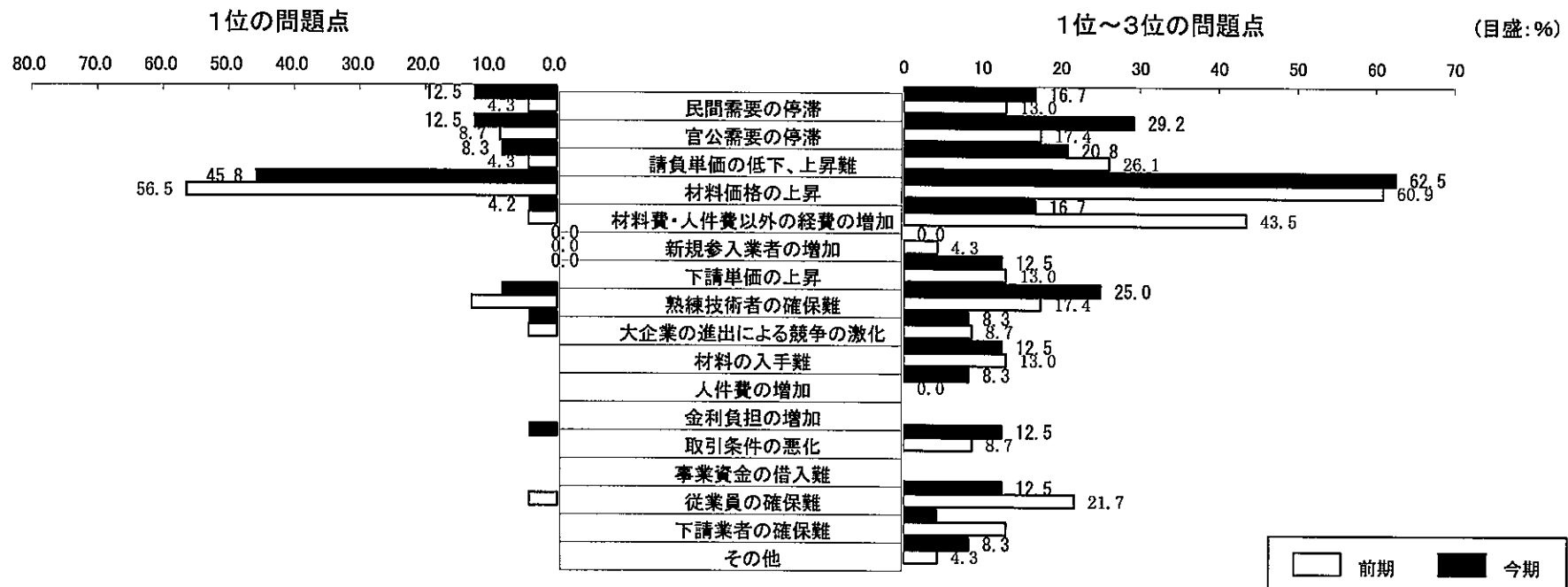


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

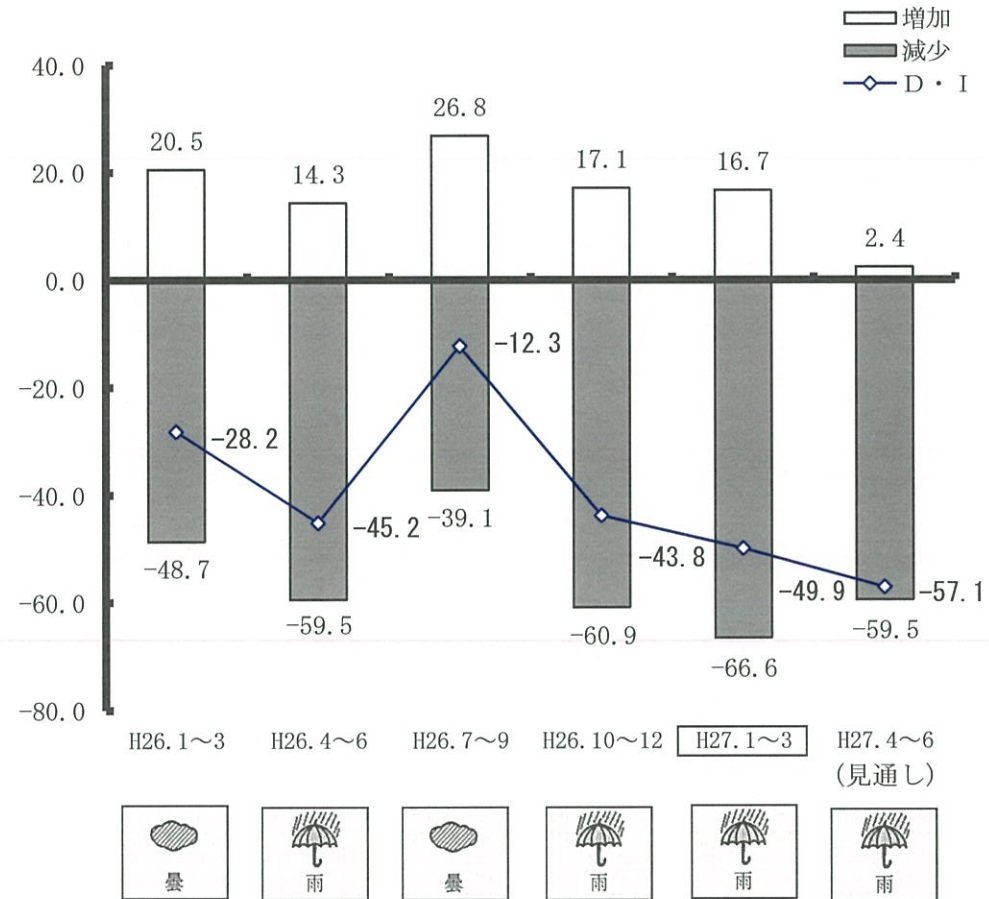


<来期見通し>



売上高増加企業は横ばいで、売上高減少企業が増加したことから、売上高D・Iは6.1ポイント悪化の△49.9となり、天気図は雨のままです。

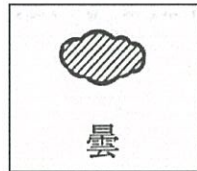
来期は、売上高増加を予想する企業が更に減少するため、売上高D・Iは、7.2ポイント減少の△57.1と極めて悪化する見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

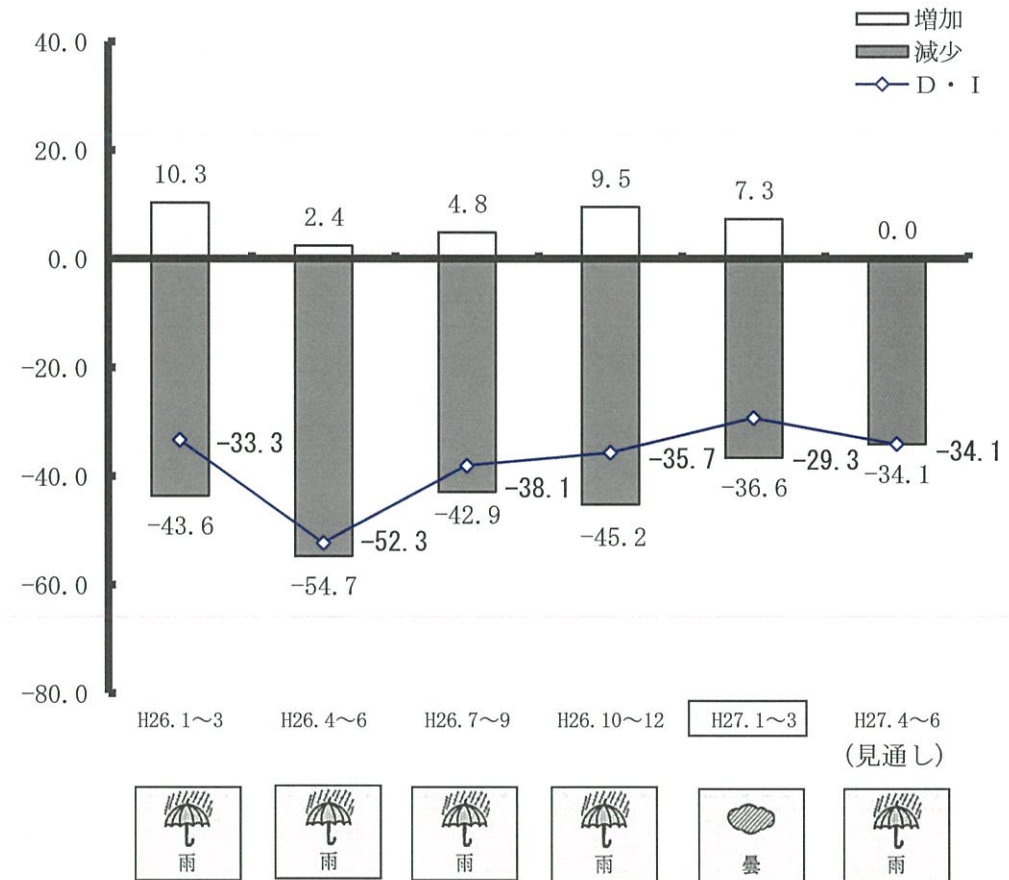


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業がやや減少したものの、採算が悪化した企業もやや減少したため、採算D・Iは6.4ポイント改善し、△29.3に回復しました。

来期は、採算の好転を予想する企業がゼロとなり、採算D・Iは△34.1と厳しい見通しとなっており、天気図も曇りから雨の見通しで

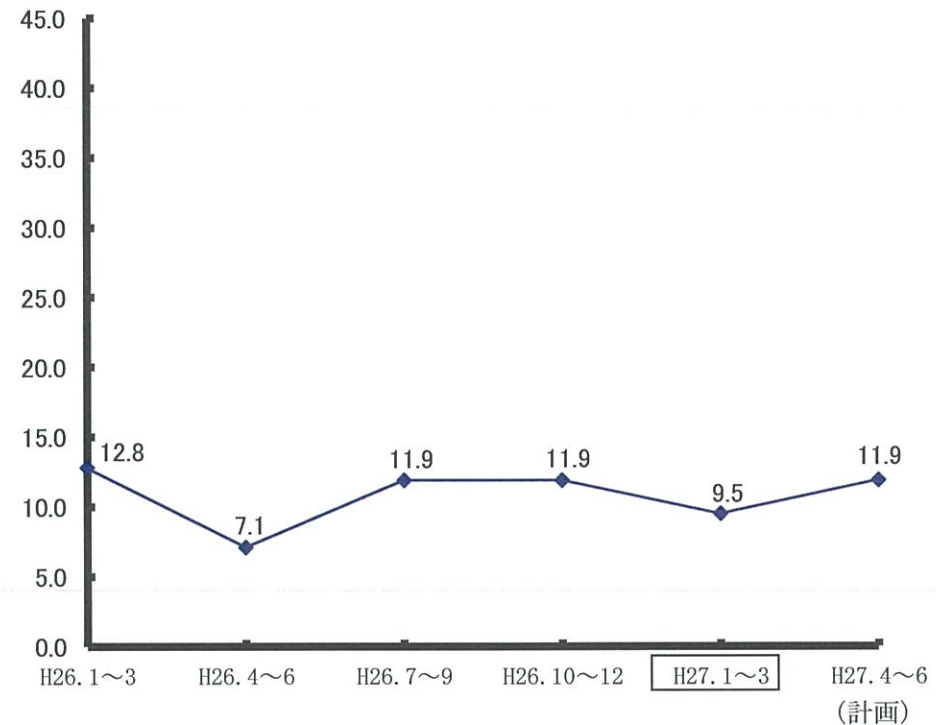


設 備 投 資

今期に、設備投資を実施した企業は、9.5と小幅な減少となり、低水準の維持となりました。

来期は、設備投資を計画している企業が2.4ポイント増加し、11.9とやや回復すると見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

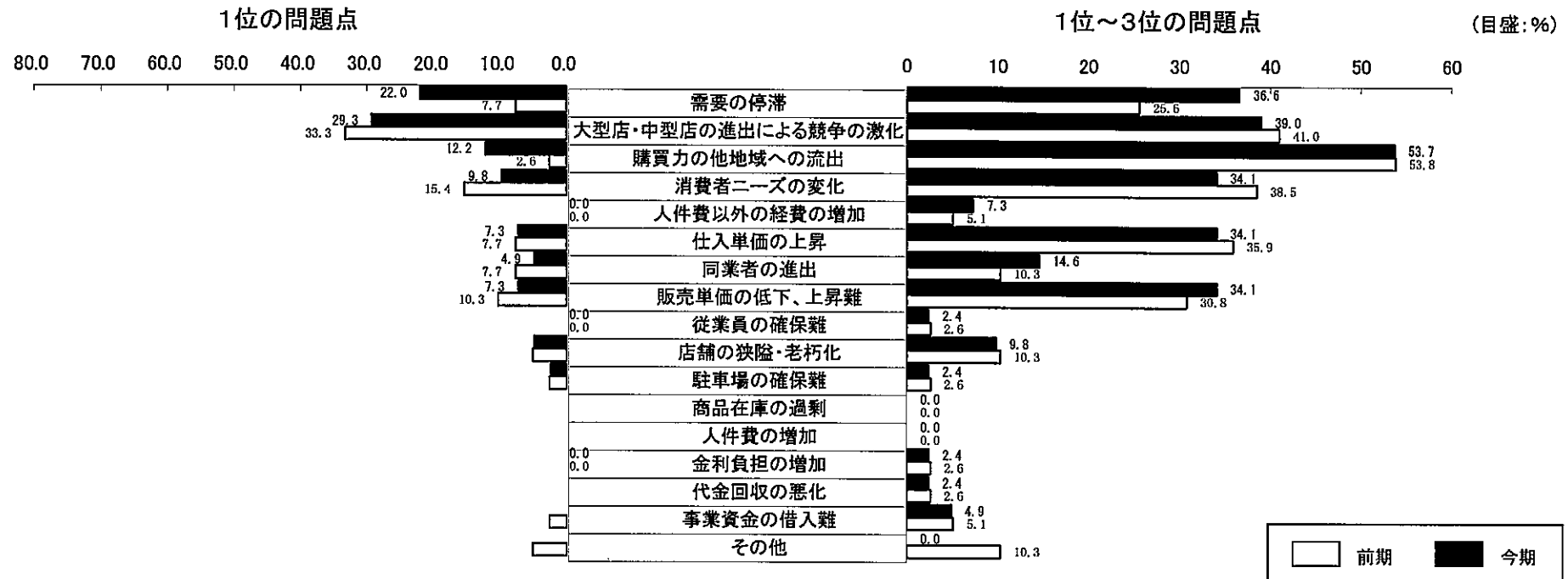


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

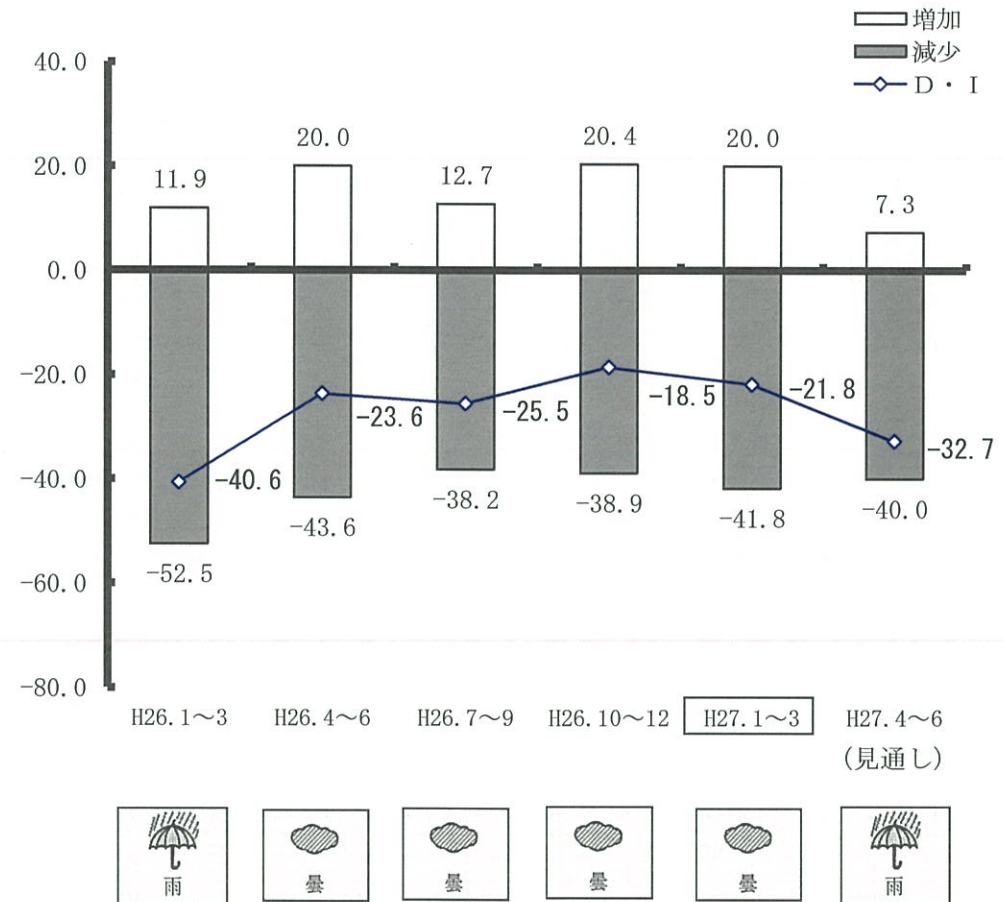


<来期見通し>



今期は、売上高減少企業が減少したため、売上高D・Iは、3.3ポイント減少し、△21.8にやや悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が大幅に減少することから、売上高D・Iは△32.7まで悪化すると見込んでおります。



サービス業の推移

採算

<今 期>

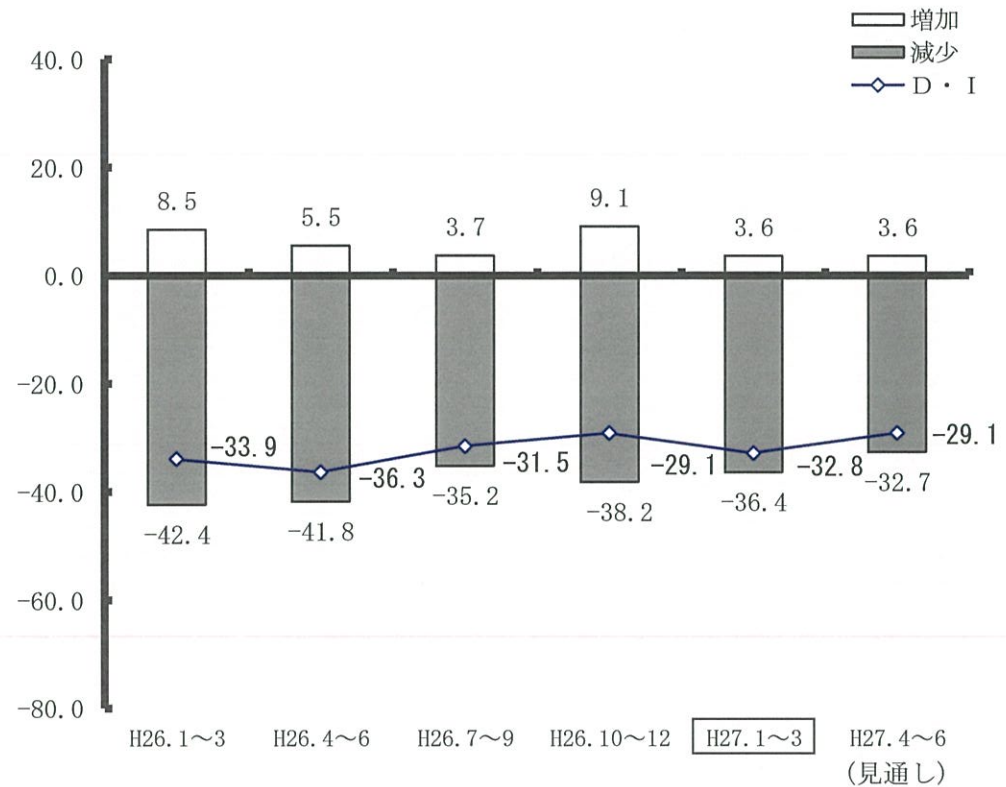


<来期見通し>



今期は、採算が増加した企業が減少し、採算減少企業数がやや減少したことから、採算D・Iは3.7ポイント減少の△32.8と悪化し、天気図も曇りから雨となりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が、やや減少となる見込みで、D・I値は△29.1と小幅に回復する見込みです。

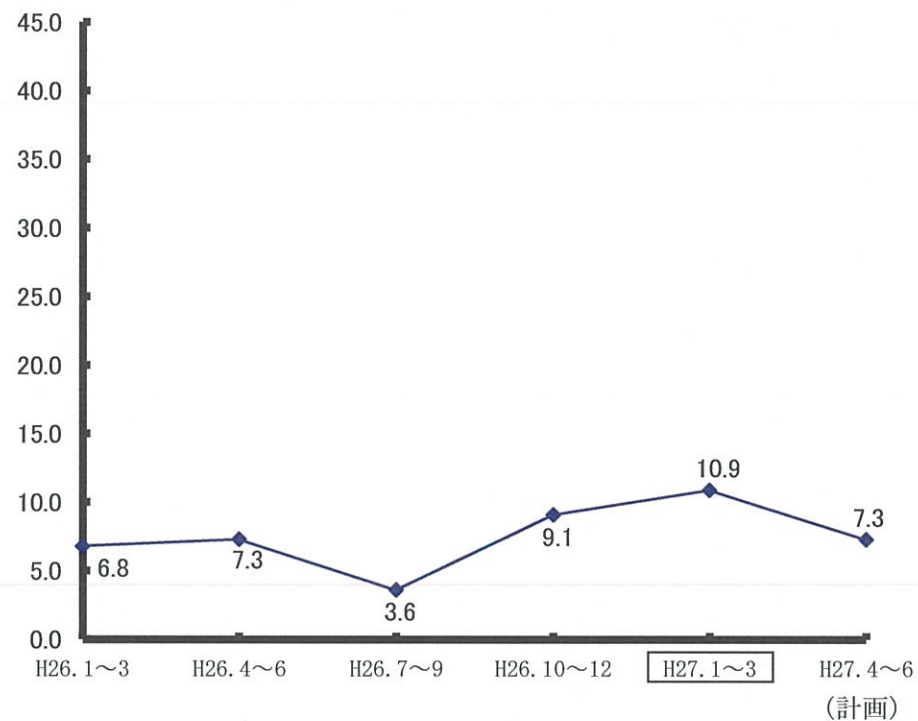


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は1.8ポイント増加の10.9と上昇し、やや改善しました。

来期は、7.3まで悪化する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

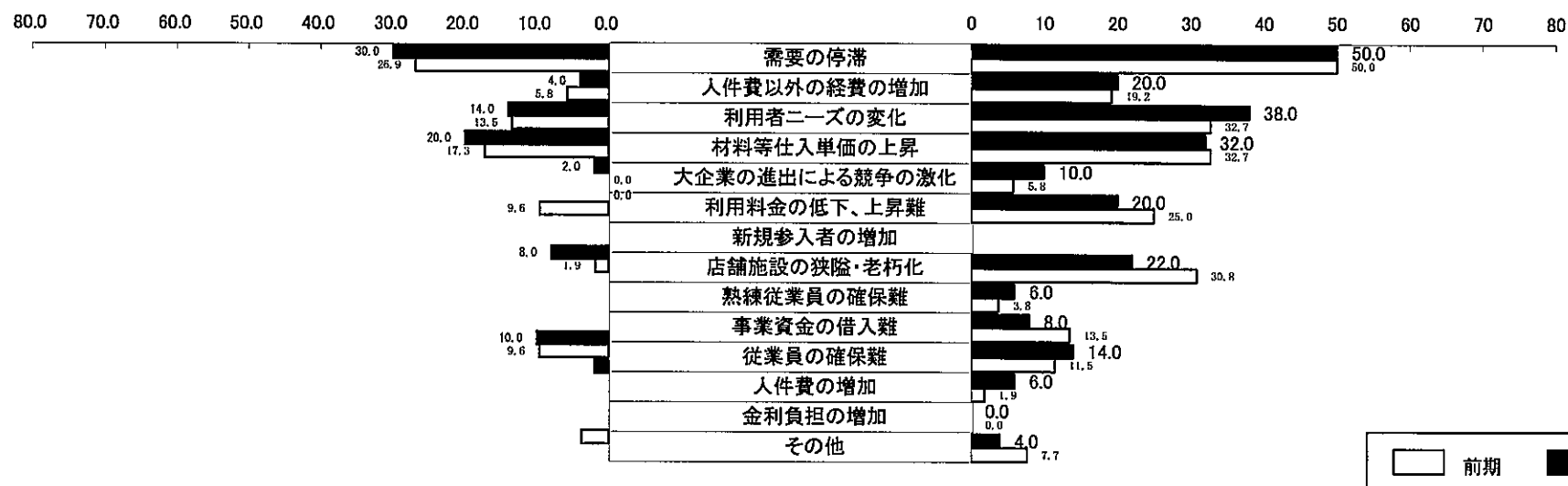
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

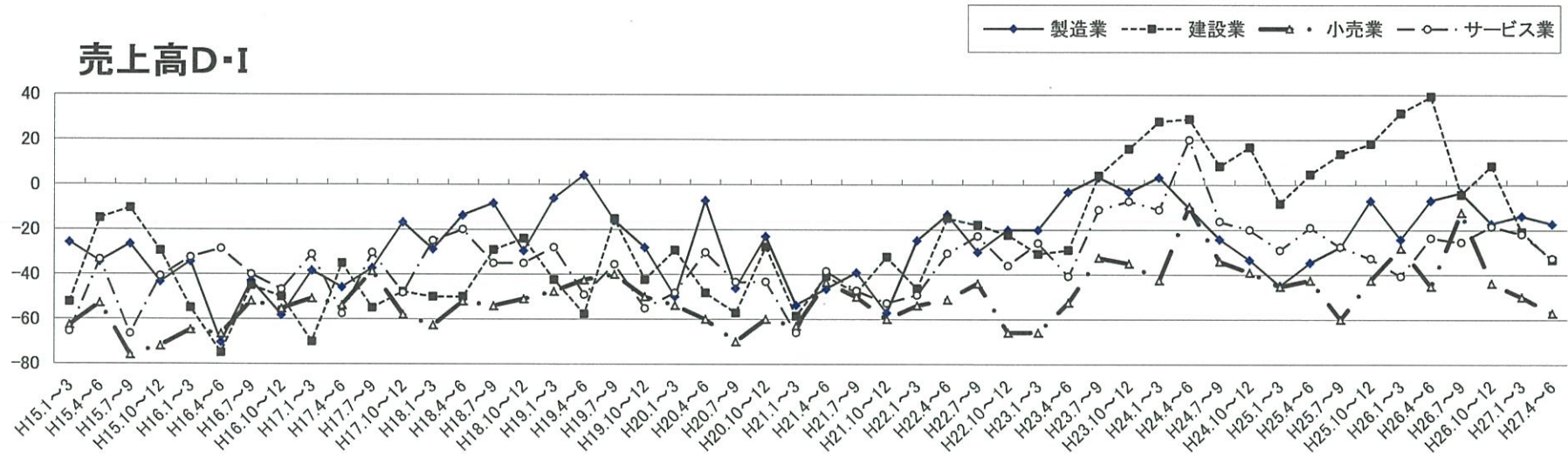
1位～3位の問題点

(目盛:%)

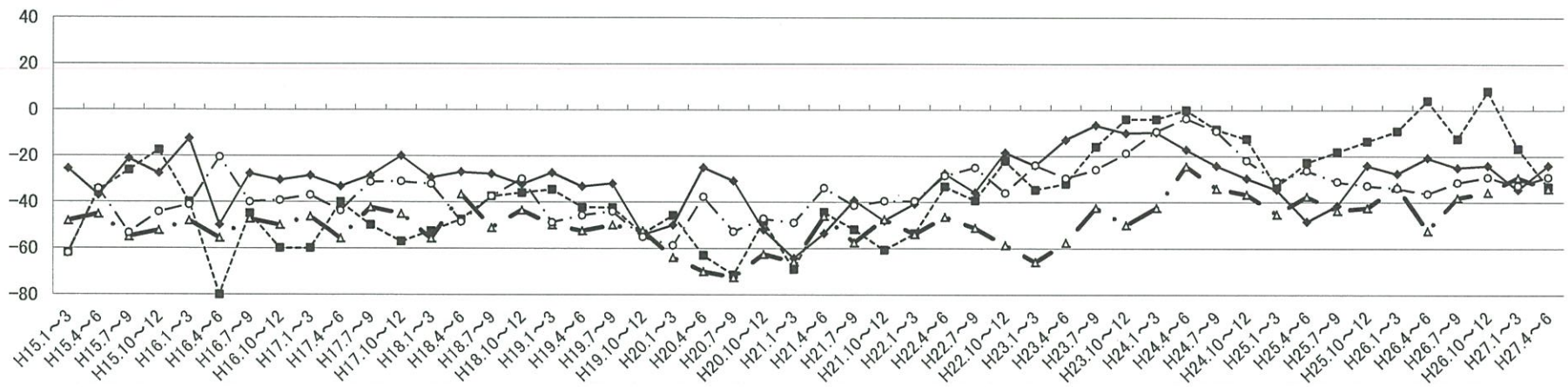


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D-I



採算D-I



集 計 資 料

調查要項

- | | | | |
|------------|--|-------------|--|
| 1. 調 査 対 象 | (1) 対象地区 | 県内 10 商工会地区 | 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ケ崎町、岩泉、軽米町、洋野町 |
| | (2) 対象企業数 | 150 | 企業 |
| | (3) 回答企業数 | 150 | 企業 |
| 2. 調査対象期間 | 平成 27 年 1 月～3 月を対象とし、調査時点は平成 27 年 3 月 1 日としました。 | | |
| 3. 調査方法 | (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。 | | |
| | (2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。 | | |

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		24 (16.0)	24 (16.0)	100.0
小売業		42 (28.0)	42 (28.0)	100.0
サービス業		55 (36.7)	55 (36.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比(%)を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。